

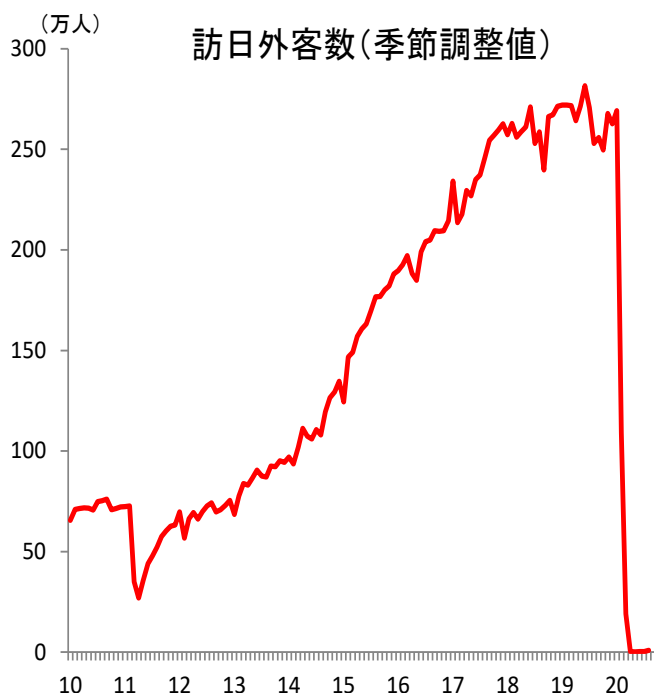
Economic Indicators

発表日:2020年9月18日(金)

訪日外客数(2020年8月)

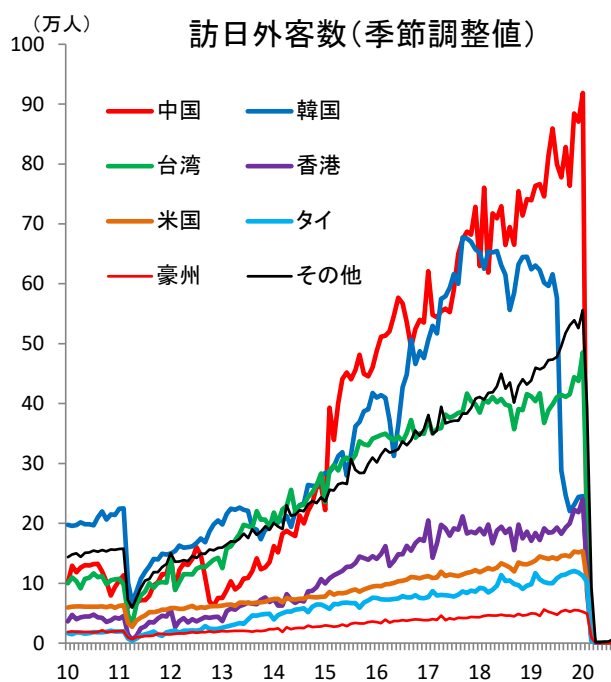
～底這い圏での推移は続くものの、往来再開により今後は商用客の持ち直しが見込まれる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
副主任エコノミスト 小池 理人(Tel:03-5221-4573)



(出所)日本政府観光局「訪日外客数」

(注)季節調整は第一生命経済研究所



(出所)日本政府観光局「訪日外客数」

(注)季節調整は第一生命経済研究所

○訪日外客数は底這い圏での推移が続くも、8月時点での往来再開の影響は限定的

9月18日に日本政府観光局(JNTO)から発表された20年8月の訪日外客数は8,700人、前年比▲99.7%となり、先月の3,800人を上回った。季節調整値でも前月比+156.3%(7月:同+32.3%)と増加した。もっとも、ゼロ近辺での推移であることには変わりがなく、引き続き入国制限による訪日外客数の底這い圏での動きは継続していると判断できる。7月29日からレジデンストラックの受付が開始されたタイ・ベトナムからの訪日客数については若干の増加が確認されたものの、効果は限定的なものにとどまった。

6月の暫定値¹をみると、緊急事態宣言解除後の訪日外客数については、訪日外客数全体2,565人に対して、その他客の占める割合が84.5%(2,168人)であることが明らかになった。6月時点では在留資格を有する外国人の入国が中心となっていたものとみられる。今後、往来再開協議の進展によって

¹ 推計値発表後の2か月後に公表される数値であり、観光、商用、その他といった目的別の数値が明らかになる。

商用客の持ち直しが予想されるが、どの程度の水準になるのかが注目される。

一方で、出国日本人数については、37,100人となり、前年比▲98.2%（7月：同▲98.8%）となった。出国日本人数についても、底這い圏での推移は続いており、8月時点での往来再開の影響は限定的なものにとどまっている。

○往来再開協議の進展により、商用客の持ち直しが見込まれる

今後の訪日外客数の動向については、往来の再開が進むことで、極めて緩やかな動きながらも、商用客については徐々に持ち直していくとみている。7月29日にタイ、ベトナムとの間でレジデンストラックの受付を開始したことを皮切りに、段階的に国際的な往来の再開が続いており、商用客の持ち直しが見込まれる。もっとも、訪日外客数全体の88.6%（2019年）を占める観光客については、往来再開の見通しが立っておらず、訪日外客数全体で見ると、当面の間は底這い圏での動きが続くだろう。

リスク要因としては感染状況の悪化が挙げられる。現在入国制限が緩和されている8つの国と地域はいずれも北半球に属しており、これから冬を迎えるにあたって感染状況の悪化が懸念される。入国制限の緩和に関する日本と諸外国との間の交渉は徐々に進展しているが、今後感染状況が大きく悪化する事態となれば国境を跨いだ往来の再開について慎重論が強まり、往来再開に関する時期の先送りや実施の見送りといった事態が生じうる点についても考慮しておく必要があるだろう。

入国制限の緩和状況

7月29日	タイ、ベトナムとの間でレジデンストラックの受付を開始
	入国拒否対象地域指定以前に日本を出国した再入国許可保持者の再入国に向けた手続きを開始
9月1日	在留資格を有する外国人の再入国を原則容認
9月8日	マレーシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、台湾との間でレジデンストラック（※1）の受付を開始
9月18日	シンガポールとの間でビジネストラック（※2）の受付を開始

（※1）レジデンストラック

本件措置により例外的に相手国又は本邦への入国が認められるものの、相手国又は本邦入国後の14日間の自宅待機は維持される、主に駐在員の派遣・交代等、長期滞在者用のスキーム。

（※2）ビジネストラック

例外的に相手国又は本邦への入国が認められ、「活動計画書」の提出等の更なる条件の下、相手国又は本邦入国後の14日間の自宅待機期間中も、行動範囲を限定した形でビジネス活動が可能となる（行動制限が一部緩和される）、主に短期出張者用のスキーム。

（出所）外務省報道発表資料より第一生命経済研究所作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

